

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 11. 13

下水道機構の『新技術情報』 第308号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今朝の東京は、この秋一番の冷え込みとなりました。全国にあるアメダスの半数以上でも最低気温が今シーズン一番低くなったそうです。となると、お鍋の季節が始まりますね。今日の夕飯はお鍋にしようかな～(´ω´)

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第308号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・11月の技術サロンは、(地方共同法人) 日本下水道事業団技術戦略部上席調査役の橋本敏一氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、11/13(月)、14(火)に水処理二軸管理手法検討会、11/17(金)に新技術設計手法等共同研究委員会、下水道新技術セミナー@大阪会場を開催します

■Tea Break

・きっとやれます、大丈夫、なんとかなる
(研究第二部 ペンネーム 義理堅さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

・お待たせしました！まる子の広島、愛媛旅！をお届けします！

■国からの情報

・11/9付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。○。

●11月の技術サロンは、(地方共同法人) 日本下水道事業団技術戦略部上席調査役の橋本敏一氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは「JS技術開発計画（4次計画）について」でした。

橋本上席調査役は平成元年4月、日本下水道事業団に入社され、技術開発部総括主任研究員、技術戦略部水処理技術開発課長、技術開発企画課長等を経て、平成28年4月より現職である技術戦略部上席調査役に就任されご活躍されています。

講演内容は、日本下水道事業団の技術開発計画である「JS技術開発基本計画（4次計画）」の概要や各開発目標における開発課題とその概要についてでした。

この4次計画では、『下水道ソリューションパートナーとして「地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化」を促進するとともに、下水道ナショナルセンターとして「下水道事業全体の発展に寄与する先進的・先導的な技術の開発」を推進することにより、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献する。』という基本理念を定めており、計画期間を平成29年度から5か年として、4つの技術分野を設定し、その技術分野ごとに合計10の開発目標を、さらにその下に35の開発課題を定めているそうです。

「省エネ・低炭素化技術」の技術分野では膜分離活性汚泥法の更なる省エネ化の推進や水質（アンモニア）センサーを用いた風量自動制御技術の体系化および実用化など、「資源・エネルギー利活用技術」の技術分野では、燃料化・肥料化による下水汚泥の資源利用拡大や下水中の資源元素の回収・利用技術の開発など、「施設機能維持・向上技術」の技術分野では、有機酸・炭酸による腐食の対策技術の確立や流入水量減少対応型水処理技術の実用化など、「生産性向上・最適化技術」技術分野では、劣化診断・異常診断技術の実用化など、各技術分野の開発課題について具体的な概要や年次計画などを紹介していただきました。

最後に新たな制度設計として、簡易型を設定した技術評価と事後の技術確認制度の創設について概要の説明がありました。

全国で事業を展開している日本下水道事業団の今後の技術開発計画とあって皆さんの関心が高く、今回も多くの方々にご参加していただき、大変盛況のうちに閉会となりました。

さて、次回の技術サロンは12月14日（木）16:00から17:00での開催となります。

日本下水道協会技術研究部国際課の松宮課長を講師にお招きしご講演いただきます。講演テーマにつきましては、決定次第、当機構ホームページ等でご案内いたします。多数のご参加をお待ちしております！

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成29年度第2回水処理二軸管理手法検討会

日 時：平成29年11月13日（月） 13:30～17:00

平成29年11月14日（火） 9:30～12:00

場 所：11/13（月）京都府洛西浄化センター、11/14（火）京都府洛南浄化センター

案 件：下水処理場の二軸管理手法検討と高度処理ナレッジについて審議

●平成29年度第2回新技術設計手法等共同研究委員会

日 時：平成 29 年 11 月 17 日(金) 13:00~15:00

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：下水処理場等における電気設備の健全度診断・改築技術に関する共同研究

●第 67 回下水道新技術セミナー「地域バイオマスの展開」

【大阪会場】日時：平成 29 年 11 月 17 日(金) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場所：大阪科学技術センター

【東京会場】日時：平成 29 年 11 月 28 日(火) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場所：東京都港区 発明会館

【定員】大阪会場 120 名、東京会場 250 名、

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○行 事：第 364 回技術サロン

日 時：平成 29 年 12 月 14 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：日本下水道協会 技術研究部国際課 松宮課長

テーマ：講演テーマにつきましては、決定し次第、当機構ホームページ等でご案内いたします。

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●きっとやれます、大丈夫、なんとかなる

(研究第二部 ペンネーム 義理堅さんからの投稿です)

‘毎日が好い日でありますように’という単純な願望ではなく、‘今日という日はこの一日しかない特別な日なのだ’という覚悟の言葉が「日々(にちにち)是(これ)好日(こうにち)」だそうです。中国の唐の時代の詩人で字(う)武(ぶ)陵(りょう)の「勸(かん)酒(しゅ)」の一節によれば、‘君に勸む金屈卮(きんくつし)、満酌(まんしゃく)辞(し)するを須(もち)いず。花発(ひら)けば風雨多し、人生別離足(た)る。’王が臣に油鉢を捧げて歩かせ、‘一滴でもこぼしたら命を絶つ’と勸めたのが「油断」という説があるそうです。順調な状態がいつまでも続くと思ったり、こんなに努力したのだから順調で当然だと思っていると、底流の変化が見えなくなってきた、その変化が表面に現れた時にはすでに遅きに失すると。一日が始まる時、じっと手を見て、ゆっくりと脚下を見ますか。

中国の禅僧の布袋(ほてい)和尚(七福神のひとり)は小太りの禅者で、いつも大きな袋を担いでいて、その中には(お宝ではなく)禅寺の生活に必要な道具でいっぱいであった、道を成(じょう)じるための具(そなえ)であったといわれます。転じて、道具とは、日常生活の中で欠くことのできないものをいうようになったと。さて、道具が、良い方向に働くか、悪い方向に働くかはそれを使う人次第なのでしょう。

唐の僧が師に‘如何なるか是れ道’と問うたところ、師・南泉(なんせん)は‘平常心是れ

道’

と答えたといわれます。正岡子規の遺句に‘糸瓜咲いて痰のつまりし仏かな’。そこには長生きをしたい、苦しみから逃れたいがない、ざわつかない穏やかな心持があるような気がします。

平常心は優劣を超えるかもしれません。

迷っている人が暗雲を断ち切り、真実の悟りを得ることを「覚悟」といわれ、「覚」も「悟」も悟りの意だそうです。人は決心を固めなければ、道理を知ることは難しいと聞きますが、そんな堅苦しい気持ちではなく、もっと肩の力を抜いてどんと構えた気持ちの中から生まれてくるのかもしれません。

人生は、生(しょう)、老、病、死の四苦と、愛する者との別れ、憎い者との出会い、欲しいものが得られない、心身の苦しみが加わって八苦となる、すなわち「四苦八苦」といわれます。

いつの時代でも悩み、苦しみのない人はいません。淡々と生きることは難しいようです。逆境にいて思っている方も、「苦」は人を成長させてくれると転換してみませんか。

何かにつけて、‘どっこいしょ’が口をついて出てしまいます。自ら年をとりましたと、白状しているようなものです。‘どっこいしょ’は、六根清浄から転嫁したらしいと聞きます。「六根」が「眼・耳・花・下・身・意」の六つの感覚なので、それらの汚れを払い、心身共に清らかになることをいうようです。仏教修行で山を登るときには、‘六根清浄、お山は晴天’等と口にしながら(自分を励まして)急な山道を登っていくそうです。老生は、‘どっこいしょ’を口に出しながら。

<参考文献>

松原哲明、藤原東演：「ポジティブ生活術」(株)チクマ秀版社 平成11年4月

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●お待たせしました！まる子の広島、愛媛旅！をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-11-13>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.11.9 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂園洋昭

=====

今週も盛りだくさんです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○水環境マネジメントに関するナレッジ共有会議を開催します（流域管理官）

○ 国総研と土研で「土木の日」にちなみ研究施設の一般公開を行います（国総研）

○GJ Journal Vol.12「九州特集」を発刊しました！（GJリンク事務局）

○「マンホールサミット 倉敷 2017」に併せて、倉敷公民館会場で「下水道出前授業」を行います。
（管路管理総合研究所）

○下水道講演会のお知らせ（(公社)日本下水道管路管理業協会）

=====

○水環境マネジメントに関するナレッジ共有会議を開催します（流域管理官）

国土交通省では、地域のニーズに応じた水環境マネジメントの実現に向けた取組の一環として、平成27年度より水マネウィークを設定し、水環境マネジメントに関わる情報やノウハウを共有し、参加者が抱える技術的課題やその解決策について議論を深めています。

今年度は11月13日～11月22日を水マネウィークとし、下記2つのナレッジ共有会議を開催し、水環境マネジメントへの理解等を深めていくこととしております。

■既存ストックを活用した高度処理促進に係るナレッジ共有会議

（国土交通省主催の水処理二軸管理手法検討会との共催により開催）

1. 日 時：平成29年11月13日13時30分～17時（予定）（14日は現地視察のみ）
2. 場 所：京都府洛西浄化センター
3. 概 要：事例紹介、水処理二軸管理手法に関する討議、現地視察、意見交換
4. 出席団体：国土交通省、京都府、茨城県、埼玉県、東京都、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、船橋市、横浜市、周南市、久留米市、佐賀市
5. 一般参加：↓↓ 聴講希望者を募集中 ↓↓

13日の会議については、どなたでも聴講が可能です。聴講希望の方は、下記のとおり、お申込みください。

なお、会場の都合上、聴講人数を制限させていただく場合がございます。

【聴講申込み方法】

締 切：平成 29 年 11 月 8 日（水）12 時まで
方 法：下記必要事項を記載のうえ、メールにて申込み
宛 先：公益財団法人日本下水道新技術機構 研究第一部 下池あて
E-mail：m-shimoike@jiwet.or.jp
必要事項：所属、氏名、連絡先（電話、メール）

■多様な生態系の確保に向けた下水道における能動的管理ナレッジ共有会議

1. 日 時：平成 29 年 11 月 21 日、22 日
2. 場 所：愛知県豊川浄化センター、矢作川浄化センター
3. 概 要：事例紹介、能動的運転管理に関する討議、現地視察、意見交換
4. 出席団体：国土交通省、愛知県、兵庫県、高松市、福岡市、佐賀市、大牟田市、荒尾市、中津市、佐賀市 ほか

○ 国総研と土研で「土木の日」にちなみ研究施設の一般公開を行います（国総研）

国総研と土研では「土木の日」にちなみ 11 月 18 日（土）に研究施設の一般公開を行います。「使った水がきれいになる体験」や「無人ショベルカーのラジコン操作体験」などの土木体験教室が 7 コース、「模型による津波の観察」や「約 30 度のバンクを走り抜ける高速走行試験」などの実験棟見学が 6 コース用意しており、大人から子供まで一日中楽しめるイベントが盛りだくさんです。

「使った水がきれいになる体験」では、下水道に関する企画を用意しており、水質試験体験や、下水管内の点検に用いるテレビカメラの操作体験等ができます。また当日、つくば市内の小学 4・5 年生による「ボール紙で作る橋コンテスト」の表彰式を行います。

つくば駅より無料シャトルバスも運行されます。

みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）9:30～15:30（受付は 14:30 まで）
2. 場所：国土技術政策総合研究所（旭庁舎）、土木研究所

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20171026.pdf>

○GJ Journal Vol.12「九州特集」を発刊しました！（GJリンク事務局）

GJ Journal Vol.12「九州特集」発刊のお知らせです。

URL：<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-journal.html>

<<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-journal.html>> <Contests>

- ・下水道女子が伝える下水道の魅力

私の下水道 ー九州 GJ 編ー

沖縄県南城市 玉寄 美紗さん

日之出水道機器株式会社 中野 倫子さん
株式会社九電工 福田 貴子さん
熊本県熊本市 岩本 李佳子さん、太田 ひとみさん

【一連載一】

- ・ 地下カン口を流れるよもやま話
- ・ GJ Photo Snap
- ・ 地域別特集

北九州市下水道 100 周年事業

【一連載一】

- ・ GKP HOTNEWS
- ・ 国土交通省下水道部からの愛のメッセージ
- ・ GJ Column
- ・ GJ のつぶやき ー九州 GJ 編ー
- ・ 編集後記

※GJ リンクとは※

下水道広報プラットフォーム (GKP) 内に女性同士の繋がりを支援する場として誕生。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを

図る取組みも始まっています。

ホームページ : <http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

<<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>>

○「マンホールサミット 倉敷 2017」に併せて、倉敷公民館会場で「下水道出前授業」を行います。 (管路管理総合研究所)

管路管理総合研究所が「マンホールサミット 倉敷 2017」に併せて、倉敷公民館会場で「下水道出前授業」を行います。

管路管理総合研究所では、毎年小学校などを訪問して 5000 人以上の方に「下水道のおはなし」を聞いていただいています。今回は、主催者である倉敷市様、GKP 様のご支援を頂き開催することとなりました。

小学校などでの出前授業から進化した「楽しく学べる出前授業」としております。

①PPT を用いた下水道のおはなし (クイズ形式) と②下水道管路の管理に係るビンゴカードクイズの 2 部構成として、家族連れから大人までどなたにも親しんでいただける構成としております。

会場はマンホールサミットリレートーク会場際の会議室で行っています。マンホールサミットの参加の皆様にも「下水道出前授業」を楽しんで頂けるよう準備しています。ご来場をお待ちしています。

<http://kanro-soken.com/>

○下水道講演会のお知らせ（(公社)日本下水道管路管理業協会）

下水道界からみた下水道広報～戦略的下水道広報～についての講演会を開催いたします。

日時：平成29年11月29日（水）13：30～16：30

場所：発明会館 東京都港区虎ノ門2-9-14

主催：一般社団法人日本下水道施設業協会

一般社団法人日本下水道施設管理業協会

一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会

公益社団法人日本下水道管路管理業協会

協力：下水道広報プラットフォーム（GKP）

申込締切：11月17日（金）先着200名（定員になり次第締め切ります）

詳細→ <http://www.jascoma.com/event/year/index.html>

=====

【参考情報】

◆AI技術を使うメリットとは、社会・電力インフラの保全 <11/9 スマートジャパン>

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1711/09/news030.html>

◆たった1枚のガルパンマンホールを探せ！ 茨城・大洗町 公式ツイッターにヒント<11/8 産経ニュース>

<http://www.sankei.com/life/news/171108/lif1711080034-n1.html>

◆【マンホール蓋は友好の証】八王子市が小田原市、寄居町と互いのデザインを交換！<11/7 建設通信新聞DIGITAL>

<https://www.kensetsunews.com/web-kan/123488>

◆本物のマンホールが当たる！ 東急ハンズ「マンホールカレンダー」購入者限定キャンペーンがスタート<11/6 MdN DESIGN Interactive>

<https://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/55778/>

◆マンホールのふた、水道局が競売 岡崎で家康公秋まつり <11/5 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20171105/CK2017110502000048.html>

◆下水熱利用で協定 諏訪日赤空調システム構築<11/3 Nagano Nippo Web>

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/24218>

◆イトミミズで汚泥削減 下水処理場で実験 <11/2 わかやま新報>

http://www.wakayamashimpo.co.jp/2017/11/20171102_73554.html

◆大船渡市/メタウォーターグループを特定/浄化C改良付包括運営 <10/31 建設通信新聞DIGITAL>

<https://www.kensetsunews.com/archives/120569>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
